

広報媒体を活用した P R

Public Relations

1 記者発表

平成 24 年 1 月の第 5 回アフリカ開発会議
横浜開催決定から、平成 25 年 10 月までに、
91 件の発表を実施しました。

2 ウェブサイト・フェイスブック・ツイッター

期 間 ▶ 日本語：平成 24 年 8 月 22 日(水)
～平成 25 年 6 月 30 日(日)
英語・仏語：
平成 24 年 11 月 8 日(木)
～平成 25 年 6 月 30 日(日)

開設・運営 ▶ 第 5 回アフリカ開発会議
横浜開催推進協議会

ウェブページ ▶ 284,668 ビュー
(平成 25 年 6 月末現在)

フェイスブック ▶ いいね！ 1,177 人
(平成 25 年 6 月末現在)

ツイッター ▶ フォロワー 361 人
(平成 25 年 6 月末現在)

3 PR 映像

TICAD V 横浜開催及び横浜アフリカ月間の
周知のため、14 分と 15 秒の 2 種類の映像を
制作し、市内各所やケーブルテレビの番組と
して放映しました。

15 秒 PRCM：区役所やイベント会場等
計 24 か所で放映

14 分番組：ケーブルテレビ 7 局にて
計 222 回放映



ウェブサイト (日本語)
Website (Japanese)



フェイスブック
Facebook

5 広報よこはま

(1) 市版

ア 平成 25 年 1 月号

- 横浜で TICAD V 開催
- タンザニア大使挨拶

イ 平成 25 年 4 月号

- 第 5 回アフリカ開発会議開催に向けて
- レッドカップ for アフリカ
- イベント情報

ウ 平成 25 年 5 月号

- アフリカの魅力を見て・聴いて・感じて



広報よこはま平成 25 年 1 月号
Koho Yokohama (January 2013)

(2) 各区版

発行号	区	内容
平成 24 年 10 月号	栄区版	<ul style="list-style-type: none"> ・教えて！アフリカのこと ・横浜⇄アフリカのつながり ・あーすぷらざでのアフリカ月間開催
平成 25 年 4 月号	青葉区版	<ul style="list-style-type: none"> ・第 193 回お昼のミニコンサート アフリカに関連した曲を演奏
	旭区版	<ul style="list-style-type: none"> ・特集・ズーラシアに新エリアオープン！ この春、旭区でアフリカを感じよう！ ・アフリカンフェア in ズーラシア ・一校一国運動 旭区 3 校がアフリカと交流
	金沢区版	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトモザイク投稿写真募集 ～アフリカ開発会議関連イベント～
	港北区版	<ul style="list-style-type: none"> ・世界とつながる港北区 写真展－アフリカ開発会議関連イベント 日食グラスをアフリカへ送ろう
平成 25 年 5 月号	中区版	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカへの扉 日本大通りアフリカンアートストリート 子どもたちとアフリカとの絆を結ぶ「一校一国運動」
	西区版	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカをより身近に感じよう 一校一国運動、一駅一国運動
	瀬谷区版	<ul style="list-style-type: none"> ・総合庁舎・二ツ橋公園グランドオープンイベント

6 リーフレット

(1) 日本語版

内容 ▶

TICAD V 横浜開催を周知するため、会議概要、アフリカの豆知識、多様なアフリカの文化、横浜市とアフリカの関わりなどを分かりやすく紹介しました。

仕様 ▶ A3 二つ折り

発行部数 ▶ 77,000 部



日本語版リーフレット
Leaflet (Japanese)

(2) 英語版・仏語版

内容 ▶

海外の関係者に向け横浜の魅力を PR するとともに、横浜の取組を紹介し、アフリカの皆様に共感いただき、親近感を持って会議に参加してもらうことを目的としました。

仕様 ▶ A3 二つ折り

発行部数 ▶ 英語版、仏語版各 6,500 部



英語版リーフレット
Leaflet (English)

7 小・中学生向けリーフレット

「知ってる？アフリカのこと」

内容 ▶

小・中学生のアフリカ理解促進を図るため、アフリカを楽しく分かりやすく解説しました。

- ・アフリカ 54 か国の基礎情報
- ・世界で活躍するアフリカ出身の人たち
- ・横浜でくらすアフリカの人
- ・横浜とアフリカの関係
- ・アフリカをもっと知ろう

配布対象 ▶ 私立・国立を含む市内小中学校及び特別支援学校の小学 4 年生から中学 3 年生。

国際理解や総合学習の時間等に活用したり、一校一国運動の実施校では教材として活用。

仕様 ▶ 見開き A2 十文字四つ折り

発行部数 ▶ 210,000 部



小中学生向けリーフレット
Leaflet for elementary and junior high school students

8 広報パネル

(1) 日本語版

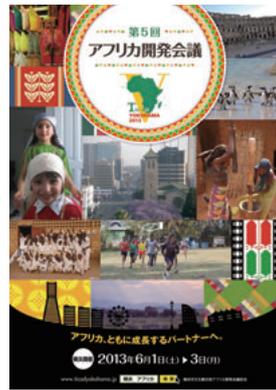
目的 ▶ 市民の皆様向けに TICAD V 横浜開催と、アフリカと横浜の関係を周知。

仕様 ▶ A1サイズ 8枚組

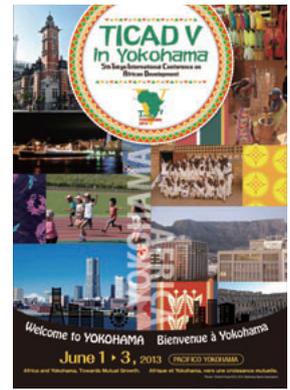
(2) 英語・仏語版

目的 ▶ 在京アフリカ外交団 (ADC) や会議参加者に対し歓迎の意を表わすため、TICAD V 会場や ADC × 市議員親善サッカー大会会場等で掲出

仕様 ▶ A1サイズ英語・仏語併記1枚



パネル (日本語)
Display Panels (Japanese)



パネル (英語・仏語併記)
Display Panel
(English and French)

9 ポスター

掲出場所及び期間 ▶

(1) 市内公共施設、西区・中区・金沢区自治会
町内会掲示板

平成 25 年 1 月～

(2) 東急東横線横浜駅

平成 25 年 1 月 16 日 (水)～22 日 (火)
5 月 15 日 (水)～21 日 (火)

(3) 市営地下鉄ブルーライン横浜駅、市営地下
鉄グリーンライン日吉駅、JR 横浜駅、京
急線横浜駅、相鉄線横浜駅、みなとみらい
線横浜駅・みなとみらい駅

平成 25 年 3 月 18 日 (月)～3 月 31 日 (日)

(4) 横浜駅 南通路および北通路

平成 25 年 3 月 1 日 (金)～6 月 3 日 (月)

作成枚数 ▶ B1 : 400 枚

A1 : 300 枚

A4 : 25,000 枚

10 電照広告

目的 ▶ 市営地下鉄利用者等、市民の皆様
向けに TICAD V 横浜開催を周知。

場所 ▶ 市営地下鉄ブルーライン横浜駅
湘南台方面行ホーム対面

期間 ▶ 平成 25 年 3 月～6 月

作成枚数 ▶ 4 種 6 枚



ポスター (横浜駅)
Poster (Yokohama Station)



電照広告
Illuminated advertisement at subway station

11 横浜開催PRバナー

目的 ▶ 全市的な盛り上げのため TICAD V のロゴを活用した横浜市独自の「横浜開催 PR バナー」を作成。

使用対象 ▶ 区局統括本部及び所管の外郭団体が実施する、

- (1) TICAD V 関連事業
- (2) 広報印刷物及びホームページなど各種広報媒体
- (3) その他、TICAD V 横浜開催のPRに資するもの



横浜開催 PR バナー
TICAD V in Yokohama PR banner

12 フリーペーパー等

(1) JICA's World

掲載 ▶ 平成 24 年 6 月号

内容 ▶

特集「アフリカ 希望と発展の大地」に市長インタビュー掲載

発行部数 ▶ 約 35,000 部



JICA's World
Free Paper

(2) 読売新聞休刊日チラシ

掲載日 ▶ 平成 25 年 5 月 7 日 (月)

内容 ▶

アフリカン・フェスタ 2013 告知及び
はまっ子どうし PR

発行部数 ▶ 約 450,000 部

(読売新聞 購読世帯)



読売新聞休刊日ちらし
News paper flier

(3) 横浜湘南散歩

掲載日 ▶ 平成 25 年 5 月 13 日 (月)

内容 ▶

一駅一国運動、アフリカ写真展のPR



横浜湘南散歩
Free paper

市長による講演

Keynote Speeches by Mayor of Yokohama

1 南部アフリカ・フォーラム 2012

日 程 ▶ 平成 24 年 5 月 29 日 (火)
14:00 ~ 18:00

概 要 ▶

南部アフリカ開発共同体 (SADC) 加盟国のうち 12 か国の代表、南アフリカ貿易・産業相、東京都副知事等が出席し、日本と南部アフリカ地域の協力関係について話し合わせ、林市長は基調講演を行いました。

会 場 ▶ 京王プラザホテル

主 催 ▶ 毎日新聞社

参加人数 ▶ 約 400 人

林市長基調講演 ▶

「～ TICAD V への期待 - 自治体の取組み～横浜とアフリカのパートナーシップ構築に向けて」
地方レベルでの協力関係構築のための取組として、横浜市とアフリカの関わり、会議開催に向けた横浜市の考え方などを紹介しました。



集合写真
Photo session

2 シンポジウム「共に成長するアフリカと日本」

日 時 ▶ 平成 24 年 9 月 13 日 (木)
18:30 ~ 20:30

会 場 ▶ イイノホール&カンファレンスセンター
4 階「イイノホール」

主 催 ▶ JICA

後 援 ▶ 横浜市

参加人数 ▶ 約 300 人

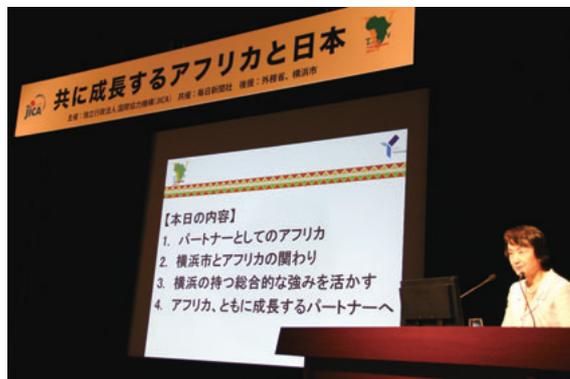
内 容 ▶

1 林市長基調講演「未来へつなぐ～アフリカと横浜～」

アフリカと「ともに成長するパートナー」としての関係を築いていくための、横浜市の取組について紹介しました。

2 パネルディスカッション「アフリカと日本～今を知り、未来を考える～」

セネガル日本職業訓練センター校長、外務省アフリカ第二課長等が参加し、アフリカの魅力や今後のアフリカと日本の関係について活発な意見交換が行われました。



林市長による基調講演
Keynote Speech by Mayor Hayashi

第5回アフリカ開発会議(TICAD V)パートナー事業

第5回アフリカ開発会議(TICAD V)パートナー事業

TICAD V Partner Programs

受付期間 ▶ 平成24年8月22日(水)～
平成25年5月8日(水)

◆パートナー認定事業一覧は146ページに掲載
認定件数 157 件

概要 ▶

会議共催者である日本政府(外務省)、国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所、世界銀行東京事務所及び開催都市である横浜市は、日本国内において会議を一層盛り上げる観点から、日本とアフリカ諸国・国民間の交流協力の促進、相互理解の増進、友好関係の強化などに資するイベントや事業を対象に「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)パートナー事業」を募集しました。

うち横浜市受付分 74 件

主催者内訳

・民間企業	18 件
・国際機関・NGO・NPO 等	15 件
・市の関連施設 自主事業	15 件
・実行委員会・協議会	11 件
・市の事業	8 件
・その他	7 件

内容 ▶

1 概要

パートナー事業認定により、公式ロゴの使用を許可し、ウェブサイト上に認定事業一覧として掲載するなど、広報面での支援を行いました。

2 申請先

- ・会議共催3団体(外務省、国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所、世界銀行東京事務所)
- ・横浜市

3 応募方法

所定の用紙に記入し、必要書類(団体概要、事業予算書等)をいずれかの申請先に送付

4 認定基準

- (1) 日本とアフリカの幅広い分野における交流促進、相互理解、友好関係に資する事業
- (2) 製品・サービスの販促目的事業、政治・思想・宗教等の活動を目的とした事業は不可